

### 廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 5 年 12 月 11 日

記入者 西村昭生

1	排出事業者	名称	京都府流域下水道事務所	所属	施設管理課	
		所在地	〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺樋ノ口1番地	担当者	堀口郁夫	TEL
					FAX	075-955-2224
2	廃棄物の名称	木津川上流流域下水道 木津川上流浄化センター 下水汚泥(し渣)				
3	廃棄物の 組成・成分情報  (比率が高いと 思われる順に 記載)	主成分 水分:約70~80%				MSDSがある場合、CAS No.
		他 可燃物				
		<input type="checkbox"/> 分析表添付(組成) ・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。				
4	廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他( )				
		※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)				
5	特定有害廃棄物  ( )には 混入有りは○、 無しは×、混入の 可能性があれば△  <input checked="" type="checkbox"/> 分析表添付 (廃棄物処理法)	アルギル水銀 ( ) トリクロロエチレン ( ) 1,3-ジクロロプロパン ( ) 水銀又はその化合物 ( ) テトラクロロエチレン ( ) チウラム ( ) カドミウム又はその化合物 ( ) ジクロロメタン ( ) シマジン ( ) 鉛又はその化合物 ( ) 四塩化炭素 ( ) チオベンカルブ ( ) 有機燐化合物 ( ) 1,2-ジクロロエタン ( ) ベンゼン ( ) 六価クロム化合物 ( ) 1,1-ジクロロエチレン ( ) セレン ( ) 砒素又はその化合物 ( ) シス-1,2-ジクロロエチレン ( ) ダイオキシン類 ( ) シアン化合物 ( ) 1,1,1-トリクロロエタン ( ) 1,4-ジオキサン ( ) PCB ( ) 1,1,2-トリクロロエタン ( )				
		PRTR対象物質 届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。				
7	水道水源における 消毒副生成物 前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)				
		生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン				
		生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)				
8	その他含有物質  ( )には 混入有りは○、 無しは×、混入の 可能性があれば△  <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 ( × )    塩素 ( × )    臭素 ( × ) ヨウ素 ( × )    フッ素 ( × )    炭酸 ( × ) 硝酸 ( × )    亜鉛 ( △ )    ニッケル ( × ) 銅 ( △ )    アルミ ( × )    アンモニア ( △ ) ホウ素 ( △ )    その他 ( — )				

9	有害特性 (有・ <b>無</b> ・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(    °C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(    °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(    )
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(泥状) 臭い(下水臭) 色(灰茶色) 比重(    ) pH(    ) 沸点(    ) 融点(    ) 発熱量(    ) 粘度(    ) 水分(70~80%)
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入 腐敗
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器(    ) <input checked="" type="checkbox"/> 車両(バラ) <input type="checkbox"/> その他(    )
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・ <b>継続予定</b> ) (    90    ) kg・t) ㎥・m <sup>3</sup> ・本・缶・袋・個    / <b>(年)</b> ・月・週・日
15	特別注意事項 (有・ <b>無</b> )	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法</li> <li>・他の廃棄物との混合禁止</li> <li>・粉じん爆発の可能性</li> <li>・容器腐食性の可能性／注意点</li> <li>・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性</li> <li>・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等</li> </ul>

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 ( **均一サンプル有** ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有 )

・ 産業廃棄物の発生工程等： 下水道終末処理場の水処理・汚泥処理施設から排出されたもの

流入水 → 沈砂池 → 最初沈殿池 → 生物反応槽 → 最終沈殿池 → 放流  
し渣排出場所

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

# 試験成績報告書

ヴェオリア・日本メンテナンス共同企業体 御中

試料採取場所：木津川上流浄化センター  
試料採取日：令和4年10月11日  
試験年月日：令和4年10月11日 ~ 令和4年10月27日  
試料由来：依頼者サンプリング  
試料採取者：ヴェオリア・日本メンテナンス共同企業体

計量証明事業登録

京都府知事(濃度)第1050号

日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号

環境試験所 京都府之御所大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9  
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886

環境計量士 中井 政典  
(登録番号 第5292号)



ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	し渣 〔溶出試験〕	報告下限値
アルキル水銀化合物	mg/L	環境庁告示第59号付表3及び環境庁告示第64号付表3	< 0.0005	0.0005
水銀又はその化合物	mg/L	環境庁告示第59号付表2	< 0.0005	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	JIS K0102-55.3	< 0.003	0.003
鉛又はその化合物	mg/L	JIS K0102-54.3	< 0.01	0.01
有機燐化合物	mg/L	環境庁告示第64号付表1	< 0.01	0.01
六価クロム化合物	mg/L	JIS K0102-65.2.1	< 0.04	0.04
砒素又はその化合物	mg/L	JIS K0102-61.3	< 0.01	0.01
シアン化合物	mg/L	JIS K0102-38.1, 2, 38.5	< 0.1	0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	JIS K0093-5, 6備考4	< 0.0005	0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.008	0.008
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
ジクロロメタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
四塩化炭素	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.004	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.03	0.03
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0006	0.0006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
チウラム	mg/L	環境庁告示第59号付表5	< 0.0006	0.0006
シマジン	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.0003	0.0003
チオベンカルブ	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.002	0.002
ベンゼン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.001	0.001
セレン又はその化合物	mg/L	JIS K0102-67.3	< 0.001	0.001
1,4-ジオキサン	mg/L	環境庁告示第59号付表8	< 0.005	0.005
			—以下余白—	

本試料は環境庁告示第13号に基づき溶出液を作成した。「<」は未満を表す。

# 試験成績報告書

令和4年10月21日  
No. 202210118052  
Job No. G.830\_018-001 S  
(1/1)

ヴェオリア・日本メンテナンス共同企業体 御中

試料採取場所：木津川上流浄化センター  
試料採取日：令和4年10月11日  
試験年月日：令和4年10月11日 ~ 令和4年10月21日  
試料由来：依頼者サンプリング  
試料採取者：ヴェオリア・日本メンテナンス共同企業体

計量証明事業登録  
京都府知事(濃度)第1050号  
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号  
環境試験所 京都府京都市東山区小字鏡田10番地9  
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886  
環境計量士 中井 政典  
(登録番号 第5292号)



ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	し渣 〔含有量試験〕		報告下限値
			wet	dry	
水銀又はその化合物	mg/kg	「底質調査方法」II・5.14.1.2	0.01	0.04	0.01
含水率	%	下水試験方法5.1.6	76.4 -以下余白-	-	0.01